

## プログラミング 児童の発想輝く

仙台・県大会入賞者発表

「みんなのみらい」をテーマに製作したアプリなどを競う県小学生プログラミング大会（河北新報社、東北工大など主催）が19日、仙台市太白区の東北工大八木山キャンパスであった。最優秀賞に美里町青生小6年常見胡桃さん（12）が2年連続で選ばれた。

事前審査を通過した12組13人が作品を発表。同工学部電気電子工学科の室山真徳教授ら4人が発想、表現、技術の観点から作品を審査した。

最優秀賞の「献立提案w



最優秀賞の表彰を受ける常見さん

e bアプリ『作ってみーな！』はスマホなどからアクセスし、使いたい材料を選択。カロリーを指定して絞り込むと、50種類のメニューから最適なものを自動で表示してくれる。県内のメタボリック症候群率の高さや食品ロス問題から着想したという。

常見さんは来年3月、東京で開かれる全国選抜小学生プログラミング大会に出場する。常見さんは「得意のプレゼンで興味を持ってもらいたい」と意気込む。

他の入賞者は次の通り。

（敬称略）

▽優秀賞 矢端千佳（大崎市古川三小4年）▽優良賞 「チムよこのすけ」森鷹之介（仙台市木町通小6年）、森孔之介（同3年）▽審査員特別賞 小松慶之介（仙台市東一番丁小6年）、佐竹軌哉（上杉山通小6年）、菅原航（東長町小4年）